



## 45歳以上の方入団歓迎!

これまで牛久市消防団に入団するには、原則として45歳未満でなければなりませんでしたが、条例が改正され、任用条件から年齢の上限が外されました。

これにより、45歳以上の働き盛りの方や退職された方、高齢でも元気な方に入団していただけるようになりました。

牛久市消防団は団員の半数以上がサラリーマンであるため、日中は地域にいないという方も少なくありません。そのため、昼間は夜間に比べて消防力が不足していません。定年退職した方など、仕事に縛られずに活動できる方々に消防団員になっていただくことで、日中の消防力は大幅に強化されます。

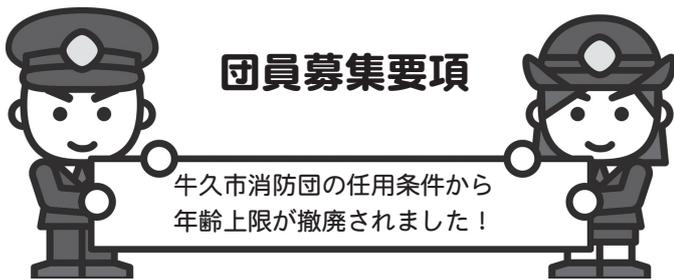
また、経験の豊富な方々が新たに加わることで、消防団活動の幅が広がり、世代間の交流や地域の交流が深まることも期待されます。

### ★団員を募集しています!

消防団や地域の防災に興味のある方、元消防団員の方、生活をもっと充実させたいとお考えの方など、地域の安全を守る消防団の活性化にご協力ください。



## 団員募集要項



牛久市消防団の任用条件から年齢上限が撤廃されました!

- ◎市内に在住または勤務の方
- ◎年齢が18歳以上の方
- ◎心身ともに健康で、土・日曜日に活動できる方

## 聖画 小川芋銭

### 再び芋銭を考える⑨

画家は、作品をかき上げた後、サイン・押印をして、絵画制作のすべてを完結させます。サインや押印の場所およびその仕方のよしあしは、作品の価値をも左右するので、画家は、全神経を集中して事に当たります。

今回は、芋銭の絵画上のサインについて考えます。芋銭は、大正6年辺りを境として、それ以前には「芋銭」を、以後には「芋銭子」を用いたと伝えられました。これらは通説とされ、今もそのままに引き継がれています。

大正6年、芋銭は、日本美術院の同人に推挙されました。同年秋に開催された、院展へ初めて出品した「沢国五景」の各図中には、すべて「芋銭」と書かれています。一方、翌年の院展出品作3点には、それぞれ「芋銭子」と書かれています。大正6年ごろを境とする通説の出どころは、案外この辺りではないかと推測されます。

小川芋銭研究センターでは、「芋銭全作品集」を作るため、大量の資料を収集してきました。資料分析を進める途中、通説を改めなければならない資料を、その中から見いだしました。

左の図は、明治43年1月9日付「東京毎日新聞」に掲載された、芋銭作の「人日」と題する作品です。



↑小川芋銭作「人日」明治43年

作品中で、年中行事をしている帽子をかぶった人物は、よく見ると芋銭です。画面左下にはサインがあつて、そこには、明りように「芋銭子」と書かれています。これらによって、号「芋銭子」は、明治43年初めには使われていたと、実証することができました。これで、また一つ通説を改めることができました。

小川芋銭研究センター 北畠健